

2024年度

--	--

2024年度

科目名	社会情勢			授業形態	演習		
担当教員	菅原 克彦			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	アナウンサー・記者・ディレクター（放送局・フリー）、日本語教師						
テキスト	「図解まるわかり時事用語 2024⇒2025年度」（新星出版社）						
講義の概要	刻々と状況が変化する日本、世界の最新の出来事や、その理解に必要な基礎知識をニュース記事などを題材に積み上げ、「今」を捉える力を養う。合わせて各事象の私見形成のためのポイントを考え、提示し、今後の就職活動や資格試験等の時事問題対策の基礎とする。合わせて社会人としての必要な知識の習得を目指す。また各回、一週間の出来事に関する意見発表の場を設け、学生間であらゆる考え方に触れてゆく。						
講義の展開計画							
第1回	旧年度末⇒新年度初頭の社会情勢（ウクライナ・中東情勢、外為、ロシア大統領選など）			第1回			
第2回	中東情勢①（現況、2023年10月からの推移、地勢的状况、歴史的変遷の確認など）			第2回			
第3回	中東情勢②（現況、世界・日本への影響、日本がすべきこと、キーワードの確認など）			第3回			
第4回	外国為替①（現況、メカニズム、変化する原因、国内外への影響など）			第4回			
第5回	外国為替②（現況、政府介入、今後の生活やインバウンドへの影響など）			第5回			
第6回	G7①（概要、2024年イタリアG7の概要、G7の役割と求められるもの）			第6回			
第7回	G7②（2023年イタリアG7の声明文と詳細、G20や他の枠組みの必要性など）			第7回			
第8回	人口問題（現況、日本の2023年合計特殊出生率、推移の理由、異次元の少子化対策など）			第8回			
第9回	世界のエネルギー事情（各国の発電事情とその理由、原発の現況、ベースロード電源など）			第9回			
第10回	SDGs（実施目的と制定過程、日本の実施状況と評価、私たちがすべきことなど）			第10回			
第11回	五輪考察①（パリ五輪概要、五輪の開催意義と各国のこれまでの開催後など）			第11回			
第12回	五輪考察②（これからの五輪、招致活動のあり方、五輪に求められるものなど）			第12回			
第13回	前期試験・解説			第13回			
履修上の注意	上記の内容を扱いながら、重要な出来事が生じた場合はその解説や討議・意見交換などを適宜交える。よって、状況により講義順や項目の変更の可能性もあり。また、より理解を深めるために、日頃からニュースや時事問題を確認しておくことが望ましい。						
試験成績の評価基準	授業態度などの平常点も加味し、筆記試験と平常点の合計を評価基準とする。（筆記試験80%、平常点20%）						

2024年度

科目名	ITスキル		授業形態	演習		
担当教員	菅原 敏夫		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	仙台市主催の「仙台ITセミナー」でMicrosoft Word/Excelの講師経験あり					
テキスト	①Microsoft Excel 2021 クイックマスター 基本編 ②2021対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級 問題集					
講義の概要	基本的なワークシートの作成、グラフ、データベースの機能を中心に学習し、Excelの基本操作を確実に身につける。また、実用例を学習することによりExcelをより便利に、そして高度に活用していくすべをマスターし、サードパーティ主催「Excel表計算処理技能認定試験3級」のレベルを知り、答練練習を繰り返すことで資格取得を目指す。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、Excelの起動～ブックを開ける		第14回	練習問題1		
第2回	既存のブックを開く～データの入力		第15回	練習問題2		
第3回	数式の入力～Microsoft Search の使い方		第16回	練習問題3		
第4回	セルの書式設定～行や列の挿入と削除		第17回	模擬問題1		
第5回	表示モードの切り替え～印刷範囲の指定		第18回	模擬問題2		
第6回	グラフの作成～グラフの編集		第19回	模擬問題3		
第7回	図形の作成～ワークシートの管理		第20回	模擬問題4		
第8回	ウィンドウの操作～統計関数		第21回	模擬問題5		
第9回	数学 / 三角関数～日付関数		第22回	模擬問題6		
第10回	リストの作成～テーブル機能		第23回	模擬問題7		
第11回	総合学習問題		第24回	受験プログラム体験用		
第12回	期末試験対策		第25回	期末試験対策		
第13回	前期期末試験		第26回	後期期末試験		
履修上の注意	実習に必要な持ち物(パソコン、テキスト、筆記用具など)を準備すること (忘れた場合は減点対象とする)					
試験成績の評価基準	規定に準じつつ課題の提出状況と平常点を加味し、実技試験との合計点を評価基準とする (評価の割合分配:平常点20点、課題提出20点、実技試験60点)					

2024年度

講義の展開計画

2024年度

科目名	接客英語		授業形態	演習		
担当教員	阿部弘枝		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1		
実務経験	ホテル接客部門の全般、外客接遇、インバウンドセールス＆マーケティング、商品企画などを中心に観光業界に於けるキャリア20年					
テキスト	最上級のホスピタリティーを伝えるホテルのおもてなし英会話					
講義の概要	1年次習得の会話のための基本文法や丁寧表現をベースに、多岐にわたる接客場面での活用可能な実践型英会話の習得を目指します。特に2年では、ディクテーションやオーラルも多く取り入れ、担当業務に応じたの専門用語や表現についての知識を増やし、実務で即戦力になれるキャスト育成を目指します。					
講義の展開計画						
第 1 回	chapter3 ロビーサービス L8		第 1 回	chapter 6 フード&ビバレッジ 専門的用語&メニューL19～20		
第 2 回	chapter3 ロビーサービス L9		第 2 回	フード&ビバレッジ 食事メニュー&食材の表現L19～20		
第 3 回	chapter4 フロントデスク業務 チェックイン		第 3 回	朝食の種類やアフタヌーンティーなど L21		
第 4 回	chapter4 フロントデスク業務チェックインL10・11		第 4 回	デイナーサービスなど L22		
第 5 回	chapter4 フロントデスク業務 販売・営業L11		第 5 回	ルームサービスなど L23		
第 6 回	chapter4 フロントデスク業務 販売・営業 L11		第 6 回	chapter 7 イベント&ウエディング L24 会場相談		
第 7 回	ゲストからの苦情 L12		第 7 回	chapter7 イベント&ウエディング L25 宴会相談		
第 8 回	チェックアウト L13		第 8 回	結婚披露宴相談&専門的用語(六輝や暫定予約表現など)		
第 9 回	ビジネスセンター L14		第 9 回	chapter8 コンシエルジュサービス L26		
第10回	救急対応 専門的用語 L15		第10回	chapter8 コンシエルジュサービス L27		
第11回	救急対応 ダイアログ L15		第11回	chapter5 ハウスキピーング ポイント学習L16～18		
第12回	宿泊部業務 ロールプレイング&ディクテーション		第12回	代表的の日本文化学習及び総括ロールプレイングまとめ		
第13回	前期末定期考査		第13回	後期末定期考査		
履修上の注意	授業参加度、課題への取り組みは、評価基準に取り入れます。					
試験成績の評価基準	前期、後期共に、筆記、オーラル、リスニングの総合的評価とします。					

2024年度

科目名	基礎ゼミナール			授業形態	演習		
担当教員				履修年次	2年		
担当学科				G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	・キャリアプランからはじめる就職活動 実践！ワークブック						
講義の概要	・前期は面接練習を徹底して行う。 ・後期は、社会人として不可欠な基礎知識やマナーを実践形式で身に付ける。 【前期】面接練習 【後期】社会人として必要なこと(実践)						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション 現状確認(個別)			第1回	前期の振り返り・活動状況報告		
第2回	志望動機を書いてみる①			第2回	コミュニケーション演習①話す力		
第3回	志望動機を書いてみる②			第3回	コミュニケーション演習②聞く力		
第4回	面接練習(WEB面接の方法・注意事項)			第4回	コミュニケーション演習③GW		
第5回	面接練習(GD①WEB Ver.)			第5回	コミュニケーション演習④GW		
第6回	面接練習(グループ) 長所・短所			第6回	プレゼンテーション演習①自分でテーマを決めて文章化		
第7回	面接練習(グループ) 志望動機			第7回	プレゼンテーション演習②練習		
第8回	面接練習(グループ) 自己紹介			第8回	プレゼンテーション演習③発表		
第9回	面接練習(グループ) 趣味・特技			第9回	プレゼンテーション演習④発表		
第10回	面接練習(グループ) 例え(色・花・動物)			第10回	来客対応・名刺交換ロープレ		
第11回	面接練習(グループ) 1分間スピーチ(好きな物)			第11回	電話対応・訪問ロープレ		
第12回	個人面接			第12回	クレーム対応ロープレ 社会人になる心構え		
第13回	後期期末試験(個人面接)			第13回	後期期末試験(作文)		
履修上の注意	実技中心に主体的に動いて学ぶこと。						
試験成績の評価基準	平常点20点 【前期】：個人面接80点 【後期】 プレゼンテーション60点+作文20点						

2024年度

科目名	コンシェルジュサービス			授業形態	演習		
担当教員	阿部 弘枝			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	ホテルの宿泊・接客部門全般、外客接遇、インバウンドセールス＆マーケティング、商品企画などを中心に観光業界に於けるキャリア20年						
テキスト	自主作成						
講義の概要	ホテル接客部門の中でも、特に、そのホテルの印象や格付けの左右に影響を与える職種として、近年脚光をあびる業務に着目し、その歴史、国内外での働き、接客スキルやマインドについて学び、進路選択に役立つ授業展開を目指す。また、実務研修の一環としての課外授業やグループワークで実務力を養い、英会話レッスンも取り入れ、国際感覚豊かなキャスト育成を目指す。						
講義の展開計画							
第1回	ホテルキャストの心得ーホテルサービスとは			第1回			
第2回	ホテルキャストの心得ー接客サービスの条件			第2回			
第3回	コンシェルジュサービスの歴史と日本のコンシエルジュサービス事情			第3回			
第4回	コンシエルジュサービス 業務内容			第4回			
第5回	ホスピタリティーの基本とマナー演習			第5回			
第6回	コンシエルジュサービス特化の英会話ー観光			第6回			
第7回	コンシエルジュサービス特化の英会話ーアクティビティ			第7回			
第8回	観光案内向け関連施設等の学習① グループワーク			第8回			
第9回	観光案内向け関連施設等の学習② グループワーク			第9回			
第10回	観光案内演習 課外研修			第10回			
第11回	プランニングシート作成及び演習コース作成(PCワーク)			第11回			
第12回	コンシエルジュサービス グループ発表及びロールプレイング			第12回			
第13回	前期末定期考査			第13回			
履修上の注意	講義回数後半からのグループワークへの積極的参加でチームワークにも学んで下さい。						
試験成績の評価基準	筆記試験50%実技試験(課外取り組み姿勢、グループワーク、プレゼンの総合評価)50%の合計						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	料飲サービス		授業形態	演習			
担当教員	今野 則幸		履修年次	2年			
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻				
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験						
テキスト	基礎からわかるレストランサービス スタンダード						
講義の概要	レストランサービスのみならず、バンケットサービスも行えるようにサーバー・プラッターを使用する。また、複数枚のプレートサービスや下げ方の練習も繰り返し行う。						
講義の展開計画							
第1回	サーバー練習			第1回			
第2回	サーバー練習			第2回			
第3回	プラッターサービス			第3回			
第4回	プラッターサービス			第4回			
第5回	プラッターサービス			第5回			
第6回	プラッターサービス			第6回			
第7回	複数人へのサービス・下げ			第7回			
第8回	複数人へのサービス・下げ			第8回			
第9回	複数人へのサービス・下げ			第9回			
第10回	複数人へのサービス・下げ			第10回			
第11回	実技試験			第11回			
第12回	実技試験			第12回			
第13回	実技試験			第13回			
履修上の注意	お客様の立場に立ち、スピーディでスマートなよりよいサービスを考えながら繰り返し練習を行う。						
試験成績の評価基準	平常点20% 実技試験80%						

2024年度

	+
--	---

科目名	観光地理		授業形態	講義		
担当教員	佐藤茂樹		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—		
実務経験	地域教育力活性コーディネーター 自然体験活動推進リーダー					
テキスト	①国内観光地理サブノート(JTB総合研究所) ②オリジナルプリント					
講義の概要	観光地の生成・構造・機能について、国内の観光地を取り上げ講義をする。具体的に、観光地の分布、観光資源、観光産業との関係、観光客の特性、観光地の環境保全や世界遺産などに留意しながら、自然地理的資源、人文地理的資源を利用して誕生・発展した観光地についての理解を深める。					
講義の展開計画						
前期			後期			
第 1 回	日本全土について		第 1 回			
第 2 回	九州地方の地理歴史		第 2 回			
第 3 回	中国地方の地理歴史		第 3 回			
第 4 回	四国地方の地理歴史		第 4 回			
第 5 回	関西地方の地理歴史		第 5 回			
第 6 回	中部地方の地理歴史		第 6 回			
第 7 回	北陸地方の地理歴史		第 7 回			
第 8 回	東海地方の地理歴史		第 8 回			
第 9 回	関東地方の地理歴史		第 9 回			
第10回	東北地方の地理歴史		第10回			
第11回	北海道地方の地理歴史		第11回			
第12回	振り返りとまとめ		第12回			
第13回	前期期末試験		第13回			
履修上の注意	テキストやP Cは必ず持参する。忘れた場合は減点対象とする。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、定期試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常20%)					

2024年度

科目名	2年 手話			授業形態	演習		
担当教員	菅原伸哉・奥山祐子			履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年		単位数	前期	—	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	手話の指導については長年の経験有り。手話での会話を身をつけ、聴覚障害者への理解を深めることで、接待のサービスに活かす。						
テキスト	はじめて出会う手話(一般財団法人全日本ろうあ連盟出版)						
講義の概要	手話は日本語とは異なる体系をもつ、ろう者の「目で見る」言語であることを理解し、外国語を学ぶのと同じ姿勢で学習にのぞんでもらう。手の動きに加えて身体や顔の表情を使って表現すること、また手話の技術のみならず、ろう者の文化や生活様式、価値観や習慣なども学習し、接待時の対応に活かす。						
講義の展開計画							
第1回	名前の表し方を覚えましょう(名前を表すいろいろな方法があることを知る)			第1回	自己紹介のまとめ		
第2回	つたえあってみましょう(手の形や動きをよくみて真似る)			第2回	接客手話の基本手話-1(あいさつの手話を覚える)		
第3回	数の表し方を覚えましょう(疑問詞〈いつ〉〈いくつ〉〈いくら〉を使って会話する)			第3回	接客手話の基本手話-2(あいさつの手話を覚える)		
第4回	家族の表し方を覚えましょう(疑問詞〈誰〉を使って会話する)			第4回	接客手話の基本手話-3		
第5回	趣味の表し方を覚えましょう			第5回	接客手話の基本手話-4		
第6回	仕事の表し方を覚えましょう			第6回	旅行のことを話しましょう		
第7回	住所の表し方を覚えましょう(地名の手話や交通手段を学ぶ)			第7回	指文字の表し方を覚えましょう-1		
第8回	読み取ってみましょう			第8回	指文字の表し方を覚えましょう-2		
第9回	自己紹介しましょう			第9回	地名の表し方を覚えましょう-1		
第10回	一日／一ヶ月／一年のことを話しましょう			第10回	地名の表し方を覚えましょう-2		
第11回	パーティのことを話しましょう			第11回	表情を工夫して表現してみましょう		
第12回	旅行のことを話しましょう			第12回	動きや形を工夫して表現してみましょう		
第13回	前期試験			第13回	後期試験		
履修上の注意	①楽しみながら手話でコミュニケーションをとることで、能力を高めていく。 ②手話で何が話されているか、理解することが重要であり、表現することをあまり強制せず、まずは「見てわかる」ことが当面の目標である。						
試験成績の評価基準	期末試験・レポート提出・授業態度						

2024年度

科目名	中国語		授業形態	演習			
担当教員	楊 旭		履修年次	2年			
担当学科	外語共通		G、クラスまたは専攻				
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	国際中国語教師資格持ち、長年にわたり多くの会話教室、カルチャーセンター、企業に中国語を教え経験あり						
テキスト	ニーハオ！ニッポン						
講義の概要	基本的な中国語文法の習得に特に重点を置き、例文までも含めて4級中国語検定の試験とHSK3級範囲に準拠しています。						
講義の展開計画							
第1回	発音(一)			第1回	過去内容のリスニング練習		
第2回	発音(二)			第2回	各種補語復習		
第3回	形容詞述語文、副詞、量詞の使い方			第3回	存在文、“有的”使い方		
第4回	“有”構文、名詞述語文、時間言い方			第4回	主述述語文比較文、觉得、喜欢、怎么の使い方		
第5回	“在”構文、介詞“在、給”方位詞			第5回	HSKリスニング練習、解説		
第6回	連動文、介詞“从”など、助動詞など			第6回	二重目的語、副詞“就、才、只、最		
第7回	過去形“了”副詞“又、再、还、刚”			第7回	助動詞“得、应该、必须”、受身文、		
第8回	経験を表す“过”、程度補語、動詞重ね型			第8回	使役文、“就要…了”“除了…还”“听说”		
第9回	動作の進行と持続、“是…的”構文			第9回	総合復習		
第10回	能願動詞“能、可以、会”			第10回	HSK過去問練習、解説		
第11回	介詞“跟、和、对、向”			第11回	“把”“让”構文、練習		
第12回	模擬テスト、解説			第12回	後期内容復習		
第13回	前期試験と解説			第13回	後期期末試験と解説		
履修上の注意	教科書にカタカナで発音を表示しないこと リスニングCDを常に聞くこと。						
試験成績の評価基準	筆記試験80点 出席率と随時テスト20点						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	カラーコーディネート			授業形態	演習		
担当教員	島 望			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース・ホテルブライダルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	色彩検定3, 2級取得 JPFCAカラーリスト講師						
テキスト	色彩検定 公式テキスト2級編 新配色カード 199b						
講義の概要	色彩検定2級合格を目的とした検定対策授業を実施します						
講義の展開計画							
第 1 回	オリエンテーション 色彩3級の振り返り			第 1 回			
第 2 回	慣用色名色のユニバーサルデザイン			第 2 回			
第 3 回	光と色			第 3 回			
第 4 回	色の表示色彩心理			第 4 回			
第 5 回	色彩調和①			第 5 回			
第 6 回	色彩調和②			第 6 回			
第 7 回	色彩調和③			第 7 回			
第 8 回	配色イメージビジュアル			第 8 回			
第 9 回	ファッションインテリア			第 9 回			
第10回	景観色彩			第10回			
第11回	検定・テスト対策			第11回			
第12回	検定・テスト対策			第12回			
第13回	テスト			第13回			
履修上の 注 意	公式テキスト、配色カードに加えのりとハサミも持参すること						
試験成績の 評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80点、平常点20点)						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ワイン概論			授業形態	演習		
担当教員	佐久間 功児			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	2
コマ数／週	前期	—	後期	1			
実務経験	仙台市内の現役ホテルマン / BARフロアのマネージャー / ワインコーディネーター						
テキスト	①オリジナルプリント						
講義の概要	ホテルのサービスマンに必要な基礎的なワインの知識を演習を交えながら習得する。						
講義の展開計画							
第 1 回				第 1 回	プロローグ/授業の進め方の説明		
第 2 回				第 2 回	世界のワイン産地について		
第 3 回				第 3 回	ワインの製造について		
第 4 回				第 4 回	ワインの品質管理について		
第 5 回				第 5 回	発砲ワインとシャンパーニュ サービス演習		
第 6 回				第 6 回	フランスワインの知識と特徴 サービス演習		
第 7 回				第 7 回	イタリアワインの知識と特徴 サービス演習		
第 8 回				第 8 回	ドイツワインの知識と特徴 サービス演習		
第 9 回				第 9 回	カリフォルニアワインの知識と特徴 サービス演習		
第10回				第10回	ニューワールドの知識と特徴 サービス演習		
第11回				第11回	日本ワインの知識と特徴 サービス演習		
第12回				第12回	ワインと料理の相性について		
第13回				第13回	ワインに関する知識のまとめ		
履修上の注意	実技があるため爪の処理、手指の消毒をお願いします。お酒の試飲はありません。						
試験成績の評価基準	出席率・授業中の態度（20点）／ 実技（20点）／ 筆記試験（60点）の合計						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	スタンダードカクテル		授業形態	演習			
担当教員	佐久間 功児		履修年次	2 年			
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻		ホテルコース		
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—	
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	仙台市内の現役ホテルマン / BARフロアのマネージャー兼ヘッドバーテンダー / カクテルコンクール全国大会出場						
テキスト	①新版 厳選 カクテル&Bar手帳 ②オリジナルプリント						
講義の概要	ホテルバーテンダーに求められる、おもてなしの「心」と「技」の実践。 接客技術、美しい動作、カクテルメイキングの演習を交えながら基礎的な酒類の知識を習得。						
講義の展開計画							
第 1 回	プロローグ/授業の進め方/基礎演習		第 1 回				
第 2 回	カクテル調合技術の基礎知識 サービス演習（ボトル&器具&グラスの扱い）		第 2 回				
第 3 回	カクテルとバーテンダーの歴史 サービス演習（立ち振る舞いとアテンド）		第 3 回				
第 4 回	お酒の出現と人類の関わり サービス演習（「注ぐ」「混ぜる」「比重」）		第 4 回				
第 5 回	お酒の分類と製造法 / 品質管理 サービス演習（ビルド・ステア・シェーク）		第 5 回				
第 6 回	醸造酒を使用したカクテル サービス演習（果物、ペティナイフの扱い方）		第 6 回				
第 7 回	蒸留酒を使用したカクテルⅠ サービス演習「氷を割ってみよう」①		第 7 回				
第 8 回	蒸留酒を使用したカクテルⅡ サービス演習「氷を割ってみよう」②		第 8 回				
第 9 回	混成酒を使用したカクテル サービス演習（カクテルメイキングの復習）		第 9 回				
第10回	スタンダードカクテル/ノンアルコールカクテル 演習（グループ別ロールプレイング①）		第10回				
第11回	スタンダードカクテル/ノンアルコールカクテル 演習（グループ別ロールプレイング②）		第11回				
第12回	演習（グループ別ロールプレイング発表会）		第12回				
第13回	お酒と文化、バーテンダーの役割（まとめ）		第13回				
履修上の注意	テキストを持参。実技があるため爪の処理、手指の消毒をお願いします。お酒の試飲はありません。						
試験成績の評価基準	出席率・授業中の態度（20点） / 実技（30点） / 筆記試験（50点）の合計						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	バーテンダー演習			授業形態	演習			
担当教員	佐久間 功児			履修年次	2 年			
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース		
履修学期	後期		単位数	前期	—		後期	2
コマ数／週	前期	—	後期	1				
実務経験	仙台市内の現役ホテルマン / BARフロアのマネージャー兼ヘッドバーテンダー / カクテルコンクール出場							
テキスト	①新版 厳選カクテル&Bar手帖 ②オリジナルプリント							
講義の概要	ホテルバーテンダーに必要な基礎的な知識とカクテルを作るための基本的な所作と調合方法を習得。 実践的なサービスの演習。スタンダードカクテルからオリジナルカクテルを創作するまでの工程を学ぶ。							
講義の展開計画								
第 1 回	オリエンテーション/基礎演習			第 1 回				
第 2 回	カクテル調合の基礎と応用 1 サービス演習			第 2 回				
第 3 回	カクテル調合の基礎と応用 2 サービス演習			第 3 回				
第 4 回	お酒の知識 各論・応用編① サービス演習			第 4 回				
第 5 回	お酒の知識 各論・応用編② サービス演習			第 5 回				
第 6 回	お酒の知識 各論・応用編③ サービス演習			第 6 回				
第 7 回	オリジナルカクテルを考えてみよう① 創作意図、テーマ、TP0、対象とするゲスト			第 7 回				
第 8 回	オリジナルカクテルを考えてみよう② 材料の調達方法。調合手順、デコレーション。			第 8 回				
第 9 回	オリジナルカクテルの創作			第 9 回				
第10回	グループ別ロールプレイング①			第10回				
第11回	グループ別ロールプレイング②			第11回				
第12回	授業のまとめ			第12回				
第13回	期末試験			第13回				
履修上の 注 意	テキスト持参。実技があるため爪の処理、手指の消毒をお願いします。お酒の試飲はありません。							
試験成績の 評価基準	出席率・授業中の態度（20点）/実技（30点）/筆記試験（50点）の合計							

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	ホスピタリティ			授業形態	演習		
担当教員	熊谷 さえ美			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	－
コマ数／週	前期	1	後期	－			
実務経験	ホテル支配人の実務経験20年。自衛隊や行政でのビジネスマナーホスピタリティ講座7年。海外勤務経験5年。						
テキスト	との都度プリント配布						
講義の概要	ホテルのホスピタリティは様々な業界の指針となっている。基礎的知識を学びながら思考実践のスキルをアップ						
講義の展開計画							
前期				後期			
第 1 回	オリエンテーション、9人のポジションで伝達能力向上			第 1 回			
第 2 回	ホスピタリティ語源、今なぜホスピタリティか			第 2 回			
第 3 回	違いから新しい価値を見出す			第 3 回			
第 4 回	世界が100人の村だったら考察			第 4 回			
第 5 回	受容・承認・重視 ことわざから学ぶ			第 5 回			
第 6 回	車椅子の方対応演習			第 6 回			
第 7 回	目の不自由な方への対応演習			第 7 回			
第 8 回	傾聴とは			第 8 回			
第 9 回	傾聴演習・3つの配り・自己分析・自己を知る			第 9 回			
第10回	ホスピタリティとSDGS			第10回			
第11回	表現方法・ノンバーバル			第11回			
第12回	異文化・外国人との接し方・タブー			第12回			
第13回	筆記試験			第13回			
履修上の注意	グループワークや演習によって表現するホスピタリティスキルの向上						
試験成績の評価基準	80％期末試験結果 20％授業態度・積極性・想像力・想像力						

2024年度

科目名	TOEIC		授業形態	演習		
担当教員	近江 貞子		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻	国際ホテルコース		
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—		
実務経験						
テキスト	公式TOEIC L & R Part 7					
講義の概要	TOEICのReading の中で特に Part 7を得点源にするために、様々な速読のポイントを学修しながら実践練習につなげていきます。長文は読み慣れないと時間がかかりますが、長文が早く読めて、苦痛でなくなる方法を学んでいきましょう。					
講義の展開計画						
第 1 回	Orientation; 基本文法(品詞と文型)の確認		第 1 回			
第 2 回	Chapter 1:速読のための基礎トレーニング 厳選フレーズ200 ①		第 2 回			
第 3 回	Chapter 2: Unit 1 広告・案内 厳選フレーズ200		第 3 回			
第 4 回	Chapter 2: Unit 2 お知らせ 厳選フレーズ200		第 4 回			
第 5 回	Chapter 2: Unit 3 Eメール・手紙(個人宛) 厳選フレーズ200		第 5 回			
第 6 回	Chapter 2: Unit 4 Eメール(グループ宛で) 厳選フレーズ200		第 6 回			
第 7 回	Chapter 2: Unit 5 連絡メモ 厳選フレーズ200		第 7 回			
第 8 回	Chapter 2: Unit 6 オンラインチャット 厳選フレーズ200		第 8 回			
第 9 回	Chapter 2: Unit 7 記事 厳選フレーズ200		第 9 回			
第10回	Chapter 2: Unit 8 2文書の問題 厳選フレーズ200		第10回			
第11回	Chapter 2: Unit 9 3文書の問題 厳選フレーズ200		第11回			
第12回	実践問題; Review all, Q & A		第12回			
第13回	期末試験・解説		第13回			
履修上の注意	上記は進捗状況に合わせて変更もあり得ます。適宜実践問題形式のレベル別のMini Testを行います。Textはやりっぱなしではなく必ず何回も復習してください。質問があればいつでも質問し、分からないままにしておかないようにお願いします。					
試験成績の評価基準	筆記試験 80%、平常点(宿題・授業への貢献・課題提出等) 20%					

2024年度

2024年度

2024年度

2024年度

講義の展開計画

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	アナウンストレーニング			授業形態	演習		
担当教員	赤間 智美			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルブライダルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	民放ラジオ放送局にアナウンサーとして勤務						
テキスト							
講義の概要	1年のときに履修した基本の発音・発声の基礎を元により実践的なアナウンスのトレーニングを行う						
講義の展開計画							
第 1 回	基本の発声・発音・滑舌の練習			第 1 回			
第 2 回	「外郎売」の意味と背景を知る			第 2 回			
第 3 回	お知らせを読む 読みやすい原稿を書く練習			第 3 回			
第 4 回	司会者の基本と心得			第 4 回			
第 5 回	ブライダルの進行表の作り方			第 5 回			
第 6 回	司会打ち合わせの進め方			第 6 回			
第 7 回	結婚式にふさわしい言葉・不適切な言葉			第 7 回			
第 8 回	ブライダルMC ① 式典の進行			第 8 回			
第 9 回	ブライダルMC ② 効果的な盛り上げ方			第 9 回			
第10回	ブライダルMC ③ 演出とアドリブ			第10回			
第11回	ブライダルMC ④ 感動的に盛り上げる工夫			第11回			
第12回	友人代表のスピーチ			第12回			
第13回	前期末試験			第13回			
履修上の注意	毎回、授業の冒頭で発声練習をする。						
試験成績の評価基準	期末試験の実技課題 80% 平常点（授業態度・出席率） 20%						

